

- 琵琶湖河川事務所では、野洲川河口部ヨシ帯再生事業のモニタリング調査を河川レンジャーのコーディネートにより、平成24年度から春と秋の年2回、地元中学校（私立立命館守山中学校サイテック部）と連携し実施しています。サイテック部では、クラブ活動の一環としてモニタリングを「YRP」と名付けて調査に取り組んでいます。
※YRPとは、『Yasu river Restoration Project（野洲川復元計画）』の略称。
- 今回は、5月に行った春季調査を基に、ヨシ帯面積調査、植生分布調査、魚類調査、また春季に新たに行った「ヤナギの根株処理」の考察を実施しました。事前に立命館守山中学校にて、生徒たちと調査方法について意見交換を行い、春季調査からの調査精度の向上に取り組みました。
- 植生分布調査の方法として、昨年度から採用したUAV撮影（ドローン）による空撮写真を使いヨシ帯内の植物分布の調査も行い、ヨシの分布、ヤナギの分布の拡大等を確認しました。
- 今までの調査を基に、立命館守山中学校では日本水大賞等に応募を行い、更なる調査意識の向上を図っており、琵琶湖河川事務所でも、今後も「行政と住民が共に考える川づくり」に引き続き取り組んで参ります。

概要

- 実施日、場所：10/20(金)現地モニタリング調査（野洲川右岸河口部）
- 主催：琵琶湖河川事務所 河川環境課
- 参加者：立命館守山中学校サイテック部
引率教員1名、生徒27名
琵琶湖河川事務所職員10名
- 支援者：河川レンジャー1名、
河川レンジャー支援室より1名
- 内容：①GPS測定(緯度経度)を利用した面積測定
『ヨシ帯を求積し繁殖状況調査』
②ドローン空撮写真を判読し現地照合『ヨシ帯内の植生分布査』
③ヨシ帯付近での魚類調査
④ヤナギの根株処理の考察
(防草シート使用との比較)
⑤ヨシ帯周辺清掃活動

位置図



②現地調査



①意見交換会及び事前準備

コーディネーター（河川レンジャー）による開催



<現地調査した生徒たちからの感想>

- ・ヤナギの成長が早いので、対処方法を考えて今後取り組んで行きたいです。
- ・3年間調査してきたが、まだまだ不明な点も多いので、1・2年生は今後も引き続き調査を頑張って欲しい。
- ・調査箇所はゴミが多いので、今後も清掃活動に取り組んで行きたい。

